



市民のいのちと生活を守る行政を

江原達也市長が初登庁

11月27日(水)、江原達也市長が初登庁し、職員や市民ら約200人が出迎えました。

職員から花束を贈られた江原市長は「これから4年間、市民のいのちと生活を守る行政をしっかりやっていきたい。職員の皆さん、ぜひご協力をお願いします」とあいさつしました。

また、幹部職員を前にした

訓示では、「現在の長門市は人口減少と少子高齢化の真只中にあり、長門市全体がワンチームとなり、この問題と戦っていかねければなりません。私と一緒に市民の皆さんに本当に信頼される日本一のとたかう市役所をつくっていきましょう」と述べました。

市長の任期は2023年11月26日までの4年間となります。



▲出迎えた市民や職員らにあいさつ



▲約40人の幹部職員を前に訓示

地元高校生と在住外国人が料理を通して国際交流

ナガトdeクッキングを開催

12月9日(日)、市内在住の外国人と地元高校生が料理で交流する「ナガトdeクッキング」が長門市保健センターで初開催されました。「けんちょう」「わかめむすび」のほか、ブラジル料理の「ケイジャジーニャ」などの計4品を一緒に調理し、交流を深めました。



▲調理をしながら国際交流を図る

健幸で元気に暮らすために

食育体験プログラム開講

12月4日(水)、深川小学校体育館で食育体験プログラムが開講され、児童53人が参加しました。講座は3日に分けられ、初日には、食事に関するアンケートに答えた後、箱に手を入れて中にある食材が何かをあてるゲームなどを通して、楽しみながら食について学びました。



▲深川児童クラブの53人が参加

長門のPeople

来年も全日本チャンピオンに

澤村直樹 さん (アームレスリング／東深川)



第37回JAWA全日本アームレスリング選手権
で男子86kgレフトハンド（左腕）の部で優勝

「第37回JAWA全日本アームレスリング選手権」で男子86kgレフトハンド（左腕）の部で優勝した澤村直樹さん。

地元の先輩に誘われ、高校から本格的にアームレスリングを始め、社会人となった今でも週3日、アームレスリングチーム「海聖」で練習をしています。その結果、県内でトップレベルの選手へと成長し、大会で何度も優勝に輝くほどの力をつけました。

全国大会には約20人がエントリー。

澤村さんは順調に勝ち進め、決勝では握力が160kgもある相手に、強い精神力ですぐに技を仕かけ、見事勝利し優勝を飾りました。

澤村さんは「決勝の相手を予選の段階でチェックしたときに、自分には相性が良い相手だと感じた。来年も全日本チャンピオンとなり、世界を目指したい。そして、もっとアームレスリングをメジャーなスポーツにしていけたら」と今後の抱負を語りました。



▲ライトハンドでも2位に輝いた

旬な人

長門市健幸づくりのつどい・ながと健幸ライフスタイルフェア 健幸を見直すきっかけに

12月15日(日)、長門市中央公民館周辺で「長門市健幸づくりのつどい・ながと健幸ライフスタイルフェア」が開催されました。

市内の事業所によるピラティス・ヨガ体験、健康サポート機器展示、管理栄養士による健康弁当販売などの健康体験のほか、ラジオ体操をテーマにした映画「体操をしよう

よ」の上映会、これからの医療・介護とシニア層の活躍を提案する講演会、各種健康相談が開催され、訪れた市民は体験を通して、自分の健幸を見直す機会としていました。

また、「第3回ながとお料理コンクール」の表彰式も行われ、148点の応募の中から選ばれた優秀賞3点の応募者が表彰されました。



▲管理栄養士による栄養バランスのチェック



▲お料理コンクールの優秀賞の受賞者